

公共事業の効果等について

【事業名、地区名、事業概要】

- 事業名：道路改良事業
- 路線名又は箇所名：国道204号（佐志バイパス）
- 事業の概要
 - 工 期：昭和58年～平成19年
 - 事 業 費：約129億円
 - 事業内容：道路改良 L=5.2km
幅員 W=13.0（25.0）m（暫定2車線）

【公共事業の効果等】

- 通行車両の円滑な走行確保
- 旧道沿いの生活環境の改善

【事業実施前の状況等】

一般国道204号は、佐賀県唐津市を起点として、東松浦半島を循環し、伊万里市を経て長崎県佐世保市に至る延長約164kmの幹線道路である。

しかしながら、唐津市の中心市街地の交通混雑の緩和とともに、重要港湾唐津港や玄海国立公園に指定されている東松浦半島へのアクセス機能の向上が求められていた。

このようなことを背景として、唐津市和多田から同市佐志に至る8.3kmの唐津バイパスを計画した。このうち3.1kmの神田バイパスについては、昭和47年より事業を行い平成6年度に4車線で部分供用した状況でした。

【事業実施後の状況や県民の声など】

バイパス整備及びその端部となる唐房入口交差点の改良により、旅行速度の改善や交通渋滞の緩和に一定の効果が見受けられ、通行車両の円滑な走行確保や旧道沿いの生活環境の改善など、バイパスの整備効果が現れている。

（県民の声）

- 通行の時間短縮となった。
- 旧道の204号の渋滞緩和となった。
- 便の良い道路が出来たことによりまちづくりの可能性が広がった。
- 両側に視界を妨げるものがないため安全な走行が可能となった。